

船橋市社会科セミナー通信 第186号

1.13土 報告

勉強会会場は、いつもの〈船橋市勤労市民センター〉。今回の出席者は、会場担当で事務局長の富澤眞也先生（芝山西小）と佐藤一巳・藤木信宏（若松小）・大野肇（県立行徳高校）の各先生と会長の池田（長野県安曇野市在住）の合計5名。残念ながら目標の10名には遠く達することができませんでした。

その後の懇親会は、近くのサンキューで5名全員が参加でした。

1本目：歴史は変わる(変わる歴史教科書) ①

by 池田義光

歴史的事実や考察は確定したものではない。かつて私たちが知っていた歴史的出来事や考察も新しい史料や遺物などの発見や研究の進展によって代わり、教科書が書き換えられるということも多々ある。

今回はそのうち、教科書が書き換えられたものをいくつか紹介する。

[1] エッセイを書き始めました

大学時代の友人の薦めで、友人のフェイスブックに歴史エッセイ『池さんの歴史ナルホド』を掲載し始めました。以下はその初回のものです。

歴史は変わる！

池田義光

私はかつて千葉県に住んでいたが、仕事が終わったのを機に、妻の実家のある長野県安曇野市に転居して、およそ1年半を迎えた。今では、テニス・トレーニングジム・歌声喫茶・カラオケ教室など様々な活動に参加している。特に歴史は好きで、安曇氏族の興亡・信州中世山城・近代自由主義者清沢淵研究という3つの勉強会に参加し、他にも安曇野検定講座・安曇野百姓一揆古文書講座などにも参加している。

歴史は学生の頃から好きな勉強だった。昔の人がどんなふうにしたのか、知るのが楽しかった。かなり夢中で勉強した。でもその頃の私は、歴史というのは過去のことなので確定したことであり、当然変わらないものだと思込んでいたのだと思う。

それが何年かして中学生に教える立場になったために自分でももう一度歴史の勉強をし直して驚いた。かつて自分が学んだことと教科書に違うことが書いてある。それが幾つもある。中でも衝撃的だったのは、「源頼朝像」「足利尊氏像」として教科書に載っていた絵が実は頼朝や尊氏ではなかったと言う話。そのため「伝源頼朝像」と書いてあったり、掲載もされていないのだ。もっと驚いたのは、「慶安の御触書」が実はなかった！というのだ。教科書のそれらの変化は調べれば続々と出てきた。

つまり歴史的事実や考察の多くは決して確定したものではなかったのだ。かつて私たちが知っていた歴史的出来事や考察も新しい史料や遺物などの発見や研究の進展によって変わり、教科書が書き換えられるということも多々あるのだ。

今回は、この一文を読んでくださった方のために、参考までに原始時代や古代史の中から教科書が書き換えられた例をいくつか紹介する。さてあなたは幾つご存じでしょうか？

「縄文時代」のイメージは変わった！

かつての教科書では「縄文時代の人々は、採集・狩猟の貧しい生活で移住をして暮らしていた」と書かれていたが、今では、「本格的な農耕の段階まではいかないが栽培も開始され、人々の生活は安定して定住も始まった」と変更された。

また稲作の開始についても「縄文時代には陸稲の栽培が始まった」こと、水稻稲作の開始もかつ

ては弥生時代からと書かれていたが、今では「縄文時代の終わり頃に九州北部で水田による米作りが開始された」と記述されている。

「大和朝廷」とは言わない！

かつての教科書では、古代日本を統一したのは「大和朝廷」と書かれていたが、今は「ヤマト政権」または「ヤマト王権」と書かれている。「大和」というのは奈良時代以後の呼称であり、7世紀までは様々な漢字が当てられていたので漢字ではなく音だけの「ヤマト」が適切であると考えられている。また、「朝廷」は天皇の下での中央集権的な官僚制機構を持つ政府・政権のこととして、天皇号もなく律令制でもない連合国家のこの時代に当てはまるのは適切でないと考えられるようになった。

ちなみに、古墳が営まれた3世紀中頃から7世紀のことを、かつては、政権の中心が「大和」にあったということで「大和時代」と呼んでいたが、今は「古墳時代」としか言わないようである。

「聖徳太子」もこんなに変わった！

①「聖徳太子」という呼び名は後代の呼称でこの時代には使われていなかったというので、現在の教科書では「厩戸皇子（聖徳太子）」または「厩戸王（聖徳太子）」と記述されている。②彼が就任したという「摂政」という役職も実はこの時代にはなかったようである。③また、推古朝の国政をリードしたのが聖徳太子だとかつては言われてきたが、今では推古天皇・厩戸王・蘇我馬子の3人の共同政治と考えられている。④それに推古朝に行われた十七条の憲法・冠位十二階・遣隋使派遣・法隆寺建立もどれも聖徳太子の施策であるとの確証がないので、教科書では誰がやったと書かずに推古朝の施策として記述しているものがある。⑤さらに、お札の似顔絵になった聖徳太子像は、8世紀半ばに描かれたもので聖徳太子と似ているという根拠がないと考えられている。

[2] 日本史の始まり：日本列島にはいつから人が住んだのか？

[従来の説] 日本最古の遺跡は約60万年前の石器であり、そのころから日本列島には人がいたと考えられる。(1970年頃から、民間研究者の藤村新一氏により旧石器時代の遺跡が次々と発見され、宮城県上高森遺跡から出土した石器は約60万年前のものと推定された。)

ところが、2000(平成12)年に、藤村新一氏の旧石器捏造事件が判明した

[現在の説] 1985年に岩手県遠野市宮守村(現遠野市宮森町)の「金取遺跡」で約9～8万年前の地層から発掘された中期旧石器時代のものと推定される石器が、日本最古の遺跡として現在最も有力。

教育出版『中学社会 歴史』 「人類の進化と広がり」の図：日本列島には4～3万年前

山川出版『詳説 日本史B』 「現在までに日本列島で発見された更新世(約1万年よりも前)の化石人骨は、静岡県の浜北人や沖縄県の港川人・山下町洞人など、いずれも新人(ホモサピエンス、約4～3万年前から)段階のものである。1931年に兵庫県明石で発見された明石人を原人とする説があったが、最近の研究では新人であることが判明し、さらに完新世(約1万年前から)のものとする意見が強い」

[3] 縄文時代の始まりはいつか？

[従来の説] 今から約1万年前から縄文時代が始まった。

縄文時代は、早期・前期・中期・後期・晩期の5つに区分される。

[現在の説] 今から1万数千年前から、縄文時代が始まった。

縄文時代は、草創期・早期・前期・中期・後期・晩期の6つに区分される。

教育出版『中学社会 歴史』 「1万数千年前から、日本列島の人々は、土器をつくり、食べ物の煮炊きや保存などに使うようになりました。このころの土器は、縄目のような文様のついたものが多いことから、縄文土器と呼ばれています。～この縄文土器を使い、人々が主に狩りや漁、採集で暮らしを営んでいた時代を縄文時代といいます。」

山川出版『詳説 日本史B』 「こうした自然環境の変化に対応して人々の生活も大きくかわり縄文文化が成立する。この文化は1万3000年前から、～」

[4] 縄文人の生活は？

[従来の説] 縄文時代の日本人は30人くらいの集団で堅穴住居に住み、農耕や牧畜は行わず狩猟・採集生活をして、食料とするものなくなると移住する生活をしていた。食生活は貧しく生活環境も悪かったので縄文人の寿命は短かった(30歳寿命説)。

[現在の説] 縄文時代の日本人は、狩猟・採集が主体だったが、農耕も行われていた。食料の貯蔵も行われ、定住生活をして集落を作っていた。食料は豊富で、季節ごとに山海の恵みを楽しむ生活を送っていた。縄文人の寿命も従来考えられていたよりも長生きだった。

教育出版『中学社会 歴史』 「大型動物に代わり、シカやイノシシなどのすばやい動物が増えたので、人々は、槍とともに弓矢と犬を使って狩りをしました。海や川では丸木舟に乗り、骨や角でつく

ったり釣り針などを用いて 魚をとり、海岸では貝を集めました。カシやクリなどの広葉樹からは、木の実を採集しました。～。 縄文土器を使い、人々が主に狩りや漁、採集で暮らしを営んでいた時代を縄文時代といいます。」（挿絵「縄文時代のむらの暮らし（想像図）」はかつての定説にちかい）

山川出版『詳説 日本史B』「縄文人の生活と信仰： 縄文時代の人々は、大きく変化した新しい環境に対応していった。とくに気候の温暖化にともな っ て植物性食料の重要性が高まり、前期以降にはクリ・クルミ・トチ・ドングリなどの木の実やヤマイモなどを採取するばかりでなく、クリ林の管理・増殖、ヤマイモなどの保護・増殖、さらにマメ類・エゴマ・ヒョウタンなどの栽培も行われたらしい。また一部にコメ・ムギ・アワ・ヒエなどの栽培も始まっていた可能性が指摘されているが、本格的な農耕の段階には達していなかった。～。 狩猟には弓矢が使用され、落とし穴などもさかんに利用され、狩猟の主な対象はニホンシカとイノシシであった。また、海面が上昇する海進の結果、日本列島は入江の多い島国になり、漁労の発達をうながした。～。 食料の獲得法が多様化したことによって、人々の生活は安定し、定住的な生活が始まった。～。 集落は、日当たりがよく、飲料水の確保に便利な水辺に近い台地上に営まれた。 広場を囲んで数軒の竪穴住居が環状に並ぶものも多く、住居だけでなく、食料を保存するための貯蔵穴群や墓地、さらに青森県三内丸山遺跡のように、集合住居と考えられる大型の竪穴住居がともなう場合がある。これらことから、縄文時代の社会を構成する基本的な単位は、竪穴住居4～6軒程度の世帯からなる20～30人程の集団であったと考えられている。～。 集団には統率者はいても、身分の上下関係や貧富の差はなかったと考えられている。」

【5】 稲作はいつ始まったのか？

【従来の説】 弥生時代の始まりが稲作の始まり

【現在の説】 (1)陸稲の栽培は、岡山県総社市南溝手遺跡から縄文時代後期中頃に陸稲による稲作の証拠が見つかっている。しかし陸稲は水稲より実りが少なく、草取りも大変で、連作もきかないので、社会へ与えた影響は後の水田耕作による稲作ほど大きくなかった。

(2)水田耕作による稲作は、縄文時代の終わりには稲作は日本に伝わっていた。(1978年に福岡県福岡市板付遺跡から縄文時代晩期の水田跡発見)(1981年に佐賀県唐津市菜畑遺跡から縄文時代晩期の水田跡発見)(1981年に福岡県福岡市野多目遺跡から縄文時代晩期の用水路と水田跡と磨製石包丁発見)→これらから、水稲による稲作は縄文時代晩期に北九州地方で始まっていた。

教育出版『中学社会 歴史』「稲作の伝来： 紀元前7～6世紀ごろ、朝鮮半島などから人々が新たな土地を求めて九州の北部に渡ってきました。これらの人々は、水田での稲作や、新たなつくりの土器や農具などの大陸の文化を日本列島に伝えました。」

山川出版『詳説 日本史B』「およそ2500年前と想定される縄文時代の終わり頃、朝鮮半島に近い九州北部で水田による米づくりが開始された。」

(注：佐賀県菜畑遺跡、福岡県板付遺跡など西日本各地で縄文時代晩期の水田が発見され、この時期に水稲農耕が始まっていたことが知られる。※このように一部で稲作が開始されているながら、まだ縄文土器を使用している段階を、弥生時代の早期ととらえようとする意見もある。)

【6】 弥生時代の始まりはいつか？

【従来の説】 弥生時代とは弥生土器を使っていた紀元前300年頃～紀元後300年頃の約600年間

【現在の説】 弥生時代の始まりは紀元前500～400年頃

教育出版『中学社会 歴史』「弥生時代のくらし：紀元前4世紀になると、稲作などの新たな文化は西日本一帯に広まり、やがて東北地方まで伝わりました。～。このように、稲作が始まり、弥生土器や金属器を使うようになった時代を、弥生時代といいます。」

(注：弥生時代の始まりについては、紀元前10世紀ごろとする説もあります。)

山川出版『詳説 日本史B』「紀元前4世紀頃から紀元後3世紀の中頃までの時期を弥生時代と呼んでいる」

【7】 縄文人と弥生人の関係は？

【従来の説】 中国大陸から弥生文化を担った人々(弥生人)が日本列島に渡来して、先住民族である縄文人を南北に追いやった。縄文人はがっしりとした体格で、弥生人は華奢な体格で身長高く脚が長くて面長で扁平な顔立ちをしている。

【現在の説】 中国大陸から弥生文化を担ったそう多くない人々(弥生人)が小集団ごとに日本列島に渡来し、地域によって先住民族の縄文人と次の3種類の関わりを持った ①北海道と沖縄の縄文人は渡来の弥生人とほとんど関わりを持たなかったので縄文的文化を持続した ②縄文人と弥生人が混血して新しい弥生文化を生んだ ③縄文人は弥生人と併存して新しい弥生文化を受け入れた

教育出版『中学社会 歴史』「弥生時代は、紀元3世紀ごろまで続きましたが、北海道や沖縄では、まだ稲作が行われず、狩りや漁、採集を中心とする独自の文化が生まれました。」

山川出版『詳説 日本史B』 「これらのことから弥生文化は、金属器をともなう農耕社会をすでに形成していた朝鮮半島から、必ずしも多くない人びとがその新しい技術をたずさえて日本列島にやってくる、在来の縄文人とともに生み出したものと考えられる。」

2本目：日本史豆知識 ④

池田義光

池田は現在、安曇野で3つの歴史勉強会（「古代安曇氏族の系譜を探る会」「中世信州山城の歴史サロン」「近代清沢淵研究会」）に加入している他に、「古文書講座」や「安曇野検定講座」を受講している。そのほかに日本史に関するネットやTV番組を見たり本を読んだりすることも多い。すると日本史に関して何かと学ぶことになる。ここではセミナー会員の皆様のために、それらから得られた豆知識の一端を紹介していきたい。

[1] NHK「英雄たちの選択：巨大古墳と倭の五王」から

1 巨大古墳はなぜ築造されたのか？

- (1) 古墳時代中期（4世紀後半～5世紀末）に古墳は最も大型化する。
- (2) 巨大古墳築造の理由は
 - ① 信仰上の理由
 - ② 埋葬者（大王）の権力を国内の人々（特に豪族）に示す といったねらいの他に、
 - ③ 中国や朝鮮半島の国々の使節にヤマト政権の権力を示して外交を有利にする 狙いがあったのではないか
- (3) ③の根拠：巨大古墳が築造された場所が中国・朝鮮半島の国々の使節が来たときに見える場所にそびえる。（このころの巨大古墳は主に大阪平野に築造）
 - 1) 大仙陵古墳（仁徳天皇陵？）などの「百舌鳥古墳群」は大阪湾沿いにあり、海から聳え立って見える。
大仙陵古墳は全長486mで高さ36m（10階建てビル）
 - 2) 第2位の規模を持つ誉田御廟山古墳（応神天皇陵）などの「古市古墳群」は、ヤマトと結ぶ2大街道（大津道・丹比道）に挟まれていて、そこを通ると巨大な古墳群が見える。

2 古墳時代中期のヤマト政権の権力の源は？

- (1) このころの古墳の副葬品から鉄製武器・武具の占める割合が高くなる。
 - ① 武器・武具や農機具として極めて重要な鉄器を大量に所有した。
（鉄製の斧と石製の斧では木を伐るのに生産力が7倍違う）
 - ② 埋葬主（大王）の性格が武人化した
- (2) 諸豪族に対する鉄器による武力の優位と鉄器を諸豪族に分け与えることは、大王（ヤマト政権）の権力の源であった

3 ヤマト政権にとって、古墳時代中期の朝鮮半島の重要性は？

- (1) 鉄は朝鮮半島南端から輸入していた
鉄は古墳時代中期の倭では生産できず、朝鮮半島南端から鉄板を輸入して、それを国内で鉄器に加工していたので、ヤマト政権にとって朝鮮半島は権力の源である鉄を得るために極めて重要な場所であった。
- (2) このころ朝鮮半島では戦いが続いたため、鉄の輸入を確保できるか、心配があった
 - ① 4世紀中頃から朝鮮半島では、高句麗と百済が激しく争った（新羅は高句麗の属国に）
 - ② 百済は高句麗に圧迫されたため、倭に支援を求めた。鉄の供給地を守りたい倭は百済と同盟し、高句麗と戦った。
「好大王碑文」には「404年に倭が侵入して来たので、これを討って大いに破った。斬り殺した倭国兵は数え切れない」とある。（高句麗兵の中心は馬に鎧を着せた騎馬兵で、矛を振り回すのに、倭の中心は歩兵でとても太刀打ちできなかったのだろう）

4 倭の五王が古墳時代中期（4世紀後半～5世紀末）に宋に使いを度々派遣した理由？

- (1) 国内的には他の豪族を支配するために中国（宋）の権威を利用
 - ① 中国（宋）に倭王として認められたい→認められた
 - ② 中国（宋）に自分には高い位を貰い、他の豪族には自分より低い位を貰って、ランク付けに利用する→実際そのように貰った（大王は安東將軍、他はもっと低い官職）（倭王武には安東大將軍が）

(2) 朝鮮半島に出兵するのに有利になるように

- ①新羅・百済を含む朝鮮半島南部の軍事指揮権を認めてもらいたい→なかなか認めて貰えなかったが、倭王武の478年の上表文で中国(宋)から認められた。
- ②あわよくば中国(宋)の出兵、さらに支援がえたい

5 6世紀には宋への使いを止めた理由？

(1) 6世紀には自前で鉄の生産ができるようになった

朝鮮半島からの渡来人によって、砂鉄から製鉄する「たたら製法」が可能になった。
→朝鮮半島から鉄を輸入する必要がなくなった

(2) 朝鮮半島では高句麗が強大化した

- ①475年に高句麗が百済の都、漢城を陥落させた。
- ②倭も5世紀末には倭王武=雄略天皇のもとで騎馬兵の養成や鉄製武器・武具の強力化による軍事改革を行っていたが、強大化した高句麗には勝てそうもない。

(3) 朝鮮半島出兵よりも、国内情勢の方が大事

- ①倭王武=雄略天皇は、大豪族の葛城氏と吉備氏を肅正
- ②地方豪族を強力にヤマト政権に組織化を図る
埼玉県の稲荷山古墳の鉄剣、熊本県江田船山古墳の鉄剣など

(4) 国内豪族の組織化は進み、朝鮮半島にも出兵しないので、中国(宋)の権威が不要

[2] <尾上松也の謎解き歴史ミステリー：平清盛の勢力拡大3施策>

1 三十三間堂の建立はなんのため？

- (1) 蓮華王院、別名三十三間堂は千体千手観音立像で有名
- (2) 三十三間堂は法持寺の一角にある。法持寺は後白河法皇の御所
- (3) 後白河法皇を喜ばせるために三十三間堂を建立した
- (4) 後白河法皇は平清盛の権力基盤となった
①清盛は妹の建春門院を後白河天皇の妃にし、その子の憲仁親王を高倉天皇に。
②高倉天皇に娘の徳子を妃に出し、その子(清盛の孫)を安徳天皇に

2 厳島神社と瀬戸内海の整備

- (1) 厳島神社は平家の守り神。主な社殿が完成した1168年に清盛50歳が太政大臣に
- (2) 清盛は厳島神社への航路となる瀬戸内海の交通を整備した
例えば、現在の広島市～呉市間の「音戸の瀬戸」の拡幅工事を行って、その間の流れを緩やかにした

3 大輪田の泊(現神戸港)を改修したのは何のため？

- (1) 清盛の父、忠盛は博多で宋との貿易で儲けた
- (2) 清盛は、都近くに宋との貿易港を開いて儲けようとした。

[3] 青銅器と鉄器

1 世界的には青銅器が先で鉄器が後の理由

青銅は銅と錫の合金で、鉄よりも低い温度で生産できるために、人類は鉄より青銅の方を先に生産できるようになった。

2 青銅は本当は青くない

青銅は銅と錫の合金で、できたては金色に近い光沢がある。(銅の混合割合により白っぽい色から10円玉に近い色まで金属の光沢があるが)
緑青色になるのは、青銅が錆びて緑青(ろくしょう)が表面を覆うようになる

3 日本では「石器時代」の次は「青銅器時代」ではない

日本では青銅器と鉄器が弥生時代前期のほぼ同時期に大陸から伝わったから

4 日本ではなぜ青銅器が祭祀用に用いられたのか？

- (1) 鉄の方が青銅より硬いので武器や農機具などの実用に向く
- (2) 青銅は鉄より金色に光り輝くので、神々しさが感じられた。
金属を知らなかった人々から見れば驚くべき色で、しかも神々しい
青銅が祭祀用鏡に使われたのも金色に光り輝くから、顔が写ると光が神秘的
銅鐸をたたいて出る金属音も、弥生時代の人々からみれば聞いたことのない澄み切った音色

[4]『池田・佐藤・長岐の沖縄紀行2017』から

☆沖縄県平和祈念公園で

沖縄県平和祈念公園

<ネット情報>

平和祈念公園は本島南部の「沖縄戦終焉の地」糸満市摩文仁の丘陵を南に望み、南東側に険しく美しい海岸線を眺望できる台地にあります。

公園整備は琉球政府時代に着手、復帰後昭和47年から都市公園として本格的な整備を進めています。

公園内には沖縄戦の写真や遺品などを展示した「平和祈念資料館」、沖縄戦で亡くなられたすべての人々の氏名を刻んだ「平和の礎」、戦没者の鎮魂と永遠の平和を祈る「平和祈念像」、そして摩文仁の丘の上には「国立沖縄戦没者墓苑」や「府県、団体の慰霊塔」が50基建立されています。国内外の観光客をはじめ、慰霊団、修学旅行生等が多く訪れる聖地であり、観光の要所ともなっております。

佐藤さんと長岐さんは、沖縄戦のことを忘れないために、毎年沖縄に来る度に「平和祈念公園」と「ひめゆりの塔」を訪問しているらしい。

沖縄県平和祈念資料館 の 設立趣意

<ネット情報>

1945年3月末、史上まれにみる激烈な戦火がこの島々に襲ってきました。90日におよぶ鉄の暴風は、島々の山容を変え、文化遺産のほとんどを破壊し、20数万の尊い人命を奪い去りました。沖縄戦は日本に於ける唯一の県民を総動員した地上戦であり、アジア・太平洋戦争で最大規模の戦闘でありました。

沖縄戦の何よりの特徴は、軍人よりも一般住民の戦死者がはるかに上まわっていることにあり、その数は10数万におよびました。ある者は砲弾で吹き飛ばされ、ある者は追い詰められて自ら命を絶たされ、ある者は飢えとマラリアで倒れ、また、敗走する自国軍隊の犠牲にされる者もありました。私たち沖縄県民は、想像を絶する極限状態の中で戦争の不条理と残酷さを身をもって体験しました。

この戦争の体験こそ、とりもなおさず戦後沖縄の人々が、米国の軍事支配の重圧に抗しつつ、つちかかってきた沖縄のこのころの原点であります。

”沖縄のこのころ”とは、人間の尊厳を何よりも重く見て、戦争につながる一切の行為を否定し、平和を求め、人間性の発露である文化をこよなく愛する心であります。

私たちは、戦争の犠牲になった多くの霊を弔い、沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、全世界の人びとに私たちのこのころを訴え、もって恒久平和の樹立に寄与するため、ここに県民個々の戦争体験を結集して、沖縄県平和祈念資料館を設立いたします。

「沖縄戦」は、中学校と高校の歴史の教科書ではどのように取り上げられているか

中学校の歴史:教育出版『中学社会 歴史』

戦場となった沖縄: 日本では、1945年3月、アメリカ軍が沖縄に上陸しました。本土の「防壁」とされた沖縄では、中学生や女学生を含む多くの県民が、守備隊に配置されるなど、激しい戦闘に巻き込まれました。アメリカ軍が攻撃が続くなか、日本軍によって、集団で「自決」に追い込まれた人々もいました。6月後半に、日本軍の組織的な抵抗は終わりましたが、戦闘は、日本が降伏したのちも9月7日まで散発的に続きました。この**沖縄戦**では、約60万人の県民のうち、死者が12万人に達しました。

高校の日本史:山川出版『詳説 日本史B』

沖縄戦: 沖縄本島の中部に上陸したアメリカ軍は、付近の二つの飛行場を制圧し、島を南北に分断した。この間、日本軍は特攻機を投入した航空総攻撃を行ったが、アメリカ艦隊を沖縄海域から撃退することはできなかった。沖縄を守備していた日本軍は、アメリカ軍を内陸に引き込んで反撃する持久戦態勢をとったため、島民を巻き込んだ激しい地上戦となり、「集団自決」に追い込まれた人々を含めおびただしい数の犠牲者を出し、6月23日、組織的な戦闘は終了した。沖縄県援護課の資料によれば、死者は軍民あわせて18万人余りにのぼった。

<この資料館で分かったこと>

1 沖縄住民にも「皇民化政策」が実施された!

戦前には朝鮮・台湾など日本の植民地に皇民化政策が実施されたが、沖縄にも皇民化政策に基づき、沖縄独特の姓に対し、「珍奇な姓を改めろ」との趣旨で、島袋→島・島田、渡嘉敷→富樫、知念→本田など、改姓運動があった。朝鮮などでは氏名すべて変更するので「創氏改名」と言うが、沖縄は「改姓」ということだが。

また、皇民化政策ということで「一村一社運動」として本土風の鳥居を持った神社の建設もあったらしい。(沖縄の人々の信仰も、本土風の天皇家の祖先神である天照大神を頂点とした神社

宗教に変更しようということか。)

さらに「標準語化運動」として沖縄方言を使わさない運動もあったようだ。

(ひどい話だ。本土の指導部は沖縄人をこうした差別意識で見ていたから沖縄戦の悲劇が起こったのだと思うと憤りを感じた。)

2 沖縄の慰安所

沖縄でも各地の部隊に後方施設として慰安所が併設された。「慰安婦」の多くは朝鮮半島から強制的に送られた女性であった。彼女たちは部隊と共に移動させられたたま、戦場で多くの人々が犠牲となった。

3 沖縄の総動員体制

総動員体制下の沖縄では、「兵士の供給・産業戦士の供給・戦時食糧の供給」の任務が課せられ、一般県民は大きな負担を強いられた。また、徴用や勤労働員のため女子挺身隊などが、北九州・関西・京浜方面の軍需工場へ送り出された。1944(昭和 19)年、第 32 軍の配備とともに沖縄県民は根こそぎ動員され、飛行場・陣地づくり、軍用食糧・資材の供出を割り当てられ、ついに軍民一体の戦闘協力を強いられ、総動員体制は極限に至った。

4 「沖縄戦」の経過

- (1) 1945(昭和 20)年 3 月 26 日、米軍は慶良間列島上陸を開始した。4 月 1 日には本島の読谷村に上陸し、そこから東に進み、4 月 3 日には東海岸に到達して、本島を南北に分断した。
- (2) 米軍は 4 月 5 日から南北へ進攻作戦を開始した。
- (3) 北進した米軍は、4 月 13 日に本島最北端に達した。その後 16 日に、東洋一の飛行場のある伊江島を攻め、6 日間で守備隊は全滅した。
- (4) アメリカ軍主力部隊は沖縄を南北に分断した後、司令部のあった首里を目指して徐々に南下した。4 月 8 日から日本軍の反撃が始まり、嘉数高地の防衛ラインから日本軍の砲門が一斉に火を噴いた。しかし、対する米軍は海からの艦砲射撃、飛行機からの爆撃をし、この援護を受けて戦車を盾に進軍した。日本軍はいよいよ防ぎきれなくなると、その戦車に爆弾をかついていて自爆したり、夜襲をかけ日本刀で斬り込んだりした。一進一退の激しい攻防戦が続いたが、日本軍はそのつど大量の死傷者をこうむりながらで、交代要員のいる米軍に徐々に崩され後退した。
- (5) ついに 5 月 29 日、瓦礫となった首里城跡に星条旗がひるがえる。日本軍は主力の 70 % を失いほぼ壊滅状態だった。首里の司令部壕が攻略された時点で通常なら沖縄戦は終わるはずだった。移動できない負傷者を 1 万人も抱えていた。
- (6) ところが司令部は、3 万の残存部隊を南部のほうに移してまだ持久戦を続けることにした。南部にはすでに 20 万人の住民が避難していた。その先は海で逃るところはない。南部は、特にガマ(洞窟)が多い地形で司令部はゲリラ戦や持久戦を目指した。しかし外は砲撃が雨のように降り注いでいるのでガマの中には住民がすでに避難していた。そこに軍が入ってきた。軍は住民を守るところかガマから住民を追い出してしまった。
- (7) 日本軍の最後の組織的な抵抗も終わり各部隊がバラバラでゲリラ戦を続けているような状況だった。6 月 23 日、最高司令官の牛島中将に自決し、組織だった戦闘は終わった。(この日は沖縄の終戦記念日となっている)。
- (8) しかし、散発的な戦闘は、日本が降伏したのちも 9 月 7 日まで続いた。

5 「沖縄戦」について

- (1) 米軍の兵力は 55 万人。それに英軍も参加。それに対し沖縄の日本軍の兵力は 11 万でその半数は学徒隊など補助的な兵隊。日本軍の装備も旧式で武器も弾薬も満足にない。とても米軍と戦える戦力ではなかった。
- (2) 沖縄戦を悲惨にしたのは日本軍が持久戦をとったこと。物量に勝る米軍の上陸に対する攻撃は逆に大きな被害を受けるので、上陸させてから持久戦に持ち込むという作戦をとった。つまりできるだけ戦闘を長引かせるというのが沖縄守備隊の使命だった。それは、沖縄を攻略されれば次は本土決戦となってしまうので、米軍の本土上陸を遅らせるために、沖縄住民を犠牲にしても構わないという考えだったのだ。
- (3) 沖縄戦の最大の特徴は、正規軍人より一般住民の犠牲者数をはるかに多かったこと。しかも米英軍による犠牲の他、日本軍による住民の殺害が各地で発生した。
日本軍は沖縄住民をスパイ視して拷問や虐殺をしたり、壕からの追い出しや米軍に探知されないために壕内の乳幼児の殺害などを行った。その他、食糧不足から住民の食糧を強奪したり、戦闘の足手まといを理由に住民に死を強要した。住民は食糧不足による餓死も多く、まさに地獄の状況であった。

☆ひめゆりの塔で

ひめゆりの塔

< ネット情報 >

看護要員として戦場に動員され、亡くなっていった「ひめゆり学徒隊」の慰霊塔です。

ひめゆりの名の由来

看護要員として動員された「女子学徒隊」を構成した2つの学校、沖縄県立第一高等女学校を「乙姫」、沖縄模範学校女子部を「白百合」と名付けられていたそうで、その両方の名前を合わせて「姫百合」と名付けられ、それをひらがなで「ひめゆり」と使うようになったそうです。

「ひめゆりの塔」に到着すると、佐藤さんが入口で献花用の花を買った。それから入口正面の「ひめゆり学徒隊」の慰霊塔に進み、献花した。慰霊塔の前には、沖縄戦当時の壕が残されていた。「ひめゆり学徒隊」の女の子たちは、この壕内で看護活動をしたのだ。

看板に書かれていたこと

【動員】 1945年3月、米軍の上陸作戦開始とともに沖縄の男女学とは戦場に動員されます。ひめゆり学徒隊は3月23日、南風原の「沖縄陸軍病院」に配属されました。戦場の病院は、丘の中腹に掘り巡らされた横穴壕にベッドを備えただけの施設で、砲煙弾雨の中、学徒は医師と看護婦の下、負傷兵の看護や水汲み、伝令、食糧運搬などを担いました。4月1日の米軍上陸後の激しい戦闘により負傷兵が急増し、3つの分室ができています。

【撤退】 5月下旬、米軍の攻撃が日本軍司令部のある首里まで迫り、5月25日、軍の南部撤退命令により、陸軍病院も南部への撤退が始まります。学徒達は砲撃と悪路の中をこの南部までたどり着きます。病院としての機能を失った後も6つの壕に分散して避難し、伝令や水汲み、食糧確保の任務に当たりました。

【解散】 6月18日夜、緊迫した戦況の中でひめゆり学徒隊に突然「解散命令」が下されます。負傷した学徒は、壕に残され、外に放り出された学徒たちは、砲弾の飛び交う中、逃げ惑い、追い詰められ、多くの命が失われました。

それから、左脇の「ひめゆり平和祈念資料館」に向かった。

ひめゆり平和祈念資料館

<ネット情報>

ひめゆり平和祈念資料館には、ひめゆり学徒隊の犠牲者の遺品や、ガス弾によって多くの犠牲者がでた伊原第三外科壕が実物大で再現されており、ひめゆり学徒隊について学べる場となっています。

<この資料館で分かったこと、感じたこと>

- 1 高校生ぐらいで看護が素人の「ひめゆり学徒隊」の女の子にとって、沖縄戦で傷ついた兵士達の看護や下の世話などは極めて大変で過酷な活動だったこと。
- 2 「ひめゆり学徒隊」は壕を出たときの空襲や、学徒隊の解散後の避難のときに亡くなった人が多いこと。
- 3 1と2について、生き残った学徒隊員によって、当時の体験の文章が残されていたが、例えば航空機の射撃を受けて、気づいたら手をつないで逃げた友人の首がとばされていたことなど、悲痛な体験談がたくさん綴られていて、読むものはずしんと重い気持ちになった。

この資料館を出た後にも、多くの人にこうした場所を訪れてほしいと、改めて思った。佐藤さんと長岐さんが毎年沖縄を訪れ、しかも「沖縄県平和祈念公園」と「ひめゆりの塔」を毎回訪問しているのは、とても大事なことだと思った。私池田も見習いたいと思った

3本目:知っ得ニュース 55

池田義光

今回も会員の皆さんが知っておくべきニュース、知って得するニュースをとりあげて、その解説を行いました。「知っ得ニュース」も毎回1本ずつ報告してきて今回で55回目になりました。

[1] TV<「教えてもらう前と後:池上彰が選んだ2017」>

1 次の5人の失言を覚えていますか? 5人の衆議院選での当落は?

①務台俊介 ②山本幸三 ③今村雅弘 ④大西英男 ⑤稲田朋美

(1)5人の失言

①務台俊介(内閣府元政務官):東北地方の台風被害の視察の際の失態のあとで→「長靴業界は儲かったんじゃないか」

②山本幸三(前地方創生大臣):観光地のPR活動について「一番のガンは文化芸員。この連中

を一掃しなければ」

③今村幸三(前復興大臣)：未帰還被災者への失言の後→「大震災はまだ東北で良かった」

④大西英男(衆議院議員)：がん患者が職場でたばこの煙を避けられない場合がある→「がん患者は働かなければいい」

⑤稲田朋美前防衛大臣：陸自の日報問題を抱えているときに→都議選の応援演説で「防衛省、自衛隊、防衛大臣、自民党としてお願いしたい」

(2) 失言をした5人の政治家は、先の衆議院選挙での当落は？

→全員当選した＝これが日本の現実

2 麻生太郎 副総理兼財務相の数々の失言を覚えていますか？

(1) 2011年：「日本ほど安全で治安のいい国はない。不細工な人でも美人でも夜中に平気で歩けるのだから」

(2) 2017. 8：「何百万人も殺しちゃったヒトラーは、いくら動機が正しくても駄目だ」

(3) 2017.10：衆議院選で自民党が圧勝して言ったのは「明らかに北朝鮮のおかげもあるし」

3 パンダ外交とは？

中国がパンダを外交の手段として使っていること

(1) シャンシャン(香香)は返さなければならない

シャンシャンの父も母も中国からの借り物(レンタル)なので

(2) 1972年のパンダブームのランランとカンカンは返さなくても良い、プレゼント

1972年に「日中共同声明」で国交正常化がなだったので、お祝いに中国がくれた。

(3) その後「ワシントン条約」でパンダのような絶滅危惧種は外国へのプレゼント禁止になった

(4) 現在中国がレンタルしている国は中国の「一带一路」構想の地域の国々

(5) 台湾へはプレゼントを申し出た

「ワシントン条約」が禁じているのは外国へのプレゼント。国内の移動は自由
つまりこれを受け入れれば台湾は中国の国内と認めたことになる

[2] TV<「教えてもらう前と後：外国産和牛？」>

1 日本で売られている牛肉の種類

(1) 外国産(輸入)牛肉 と 国産牛肉(日本国内で3ヶ月以上肥育された牛

(2) 和牛(特定の牛の種類) どこ産かには関係ない

2 和牛とは

①黒毛和種 ②褐毛和種 ③日本短角種 ④無角和種 の4品種のこと

3 外国産和牛がある

(1) オーストラリア産和牛＝25万頭、米国産＝5万頭、中国産、ブラジル産、チリ産、ニュージーランド産、その他を含めて13か国へ広がった

(2) 大量に育てているので日本産より値段が安いので、外国でも人気

日本産和牛が100gで2297円、オーストラリア産和牛が1760円

(3) 外交産和牛は味の面でも毎年進化して日本産に近づいている。

4 なぜ外国産和牛があるのか？

(1) 1991. 11に米国へ和牛精液輸出解禁の条約を結んだ

牛肉の品質向上をめざして研究目的として始まった条約

(2) 1995年に農水産省が和牛成牛の輸出を本格的に開始

(3) 1997年に、牛の生体128万頭、遺伝子1万3千本が米国に輸出

(4) 遺伝子の特許や新品種保存の条約がなかったため、それらが米国から他の外国へ

→その後日本と米国の条約を撤廃したが、時既に遅かった

[3] TV<池上彰のニュース解説 (2017.11.11)>

1 あなたの国の最近話題のニュースは？

(1) ハンガリーでは、北朝鮮のミサイル・核実験

(2) インドでは、①インドに日本の新幹線が走る(2018年から工事着工)

②花火・爆竹販売禁止→大気汚染対策(デリーは北京よりひどい!)

(3)アメリカでは、日米の巨大ロボットバトル

2 資源大国オーストラリアの電気代が世界一高いのは、なぜ？

これまで石炭火力中心だったが、温暖化対策のために、再生可能エネルギーによる発電中心に変更したので

3 ツバルで海面が上昇した訳は？

観光客増加のために、飛行場整備や土地開発によって地盤沈下した

4 フランスで、痩せすぎモデルは仕事ができないという法律ができた理由は？

拒食症が社会問題になったため

5 2017年にフィンランドで試験的に導入された「ベーシックインカム政策」とは？

すべての人に、生涯にわたり、定期的に、現金が配布される、社会保障政策

フィンランドでは 2000 人の失業者に、月 6 万 8000 円が配られる。2 年間実施して、働く意欲への影響を調べる

6 バングラディシュは難民が多すぎて問題に

(1)ミャンマーからのロヒンギャがここ 2 ヶ月で 60 万人以上が難民としてやって来た

(2)ロヒンギャとは、仏教徒がほとんどの国ミャンマーのイスラム教徒の少数民族

従来から、ミャンマー国民と認められず、差別を受けてきたが、2017 年にミャンマー軍隊がロヒンギャの集落を襲撃して集落を焼き払ったために、住めなくなって難民となった。

7 イギリスの EU 分担金問題とは？

(1)イギリスは未払いの EU 分担金が約 7 兆 2000 億円ある

(2)それをイギリスの EU 脱退前に支払わなければならない

①交渉期限は 2 年間以内で 2019 年 3 月まで

②イギリスは 5 兆 2000 億円にまけてくれと交渉

③期限内にまとまらないと、イギリスは EU と貿易ができなくなって、経済に大打撃

(3)EU 脱退かの国民投票を再度やろうとの声が出てきた

8 中国の「一帯一路構想」とは？

(1)現代版シルクロードと呼ばれる。中国と西方の国々との貿易やインフラ等の振興政策構想

(2)発展途上国のインフラ整備のためのお金は、中国(実際には A I I B = あじあインフラ投資銀行、日米以外の多くの国が参加)が出す。

(3)道路や港などインフラは中国企業がつくろう(工事受注は中国が有利なシステム)

(4)例えば、お金を借りたスリランカは、お金を返せない分を中国に港を貸し出す約束をした。

[4] その他

1 IS (イスラム国) の現状は？

(1) IS (イスラム国) の現状

①イラクでは、2017 年 7 月に、イラク北部最大の IS 拠点モスルをイラク軍が奪還。

さらに 2017 年 11 月にイラク最後の IS 拠点ラワをイラク軍が奪還。

②シリアでは、2017 年 10 月に、IS が首都としたラッカをクルド人部隊を主力とするシリア民主軍が制圧し、解放した。

さらに 2017 年 11 月にアサド政権は、IS 最後の拠点アブカマルを制圧した。

これらにより、IS (イスラム国) の実態は事実上壊滅

(2)今後の IS に対する懸念

①イラクとシリアに数千人の残存勢力がいて戦いを継続しており、避難民に紛れたテロ活動継続の懸念

②エジプト・リビア・イエメン・アフガニスタン・フィリピンミンダナオ島などに IS を支持する勢力が展開。

③欧米などで IS に共鳴する人や勢力のテロ活動の懸念

(3)今後のイラク・シリアを中心とした中東情勢

①イラクの復興をどう図るか

②シリアの内戦の終結とシリアの復興をどう図るか

③この地域で顕在化したクルド人の問題。特に民族独立の願いにどう対応するか

2 「ネットゲ廃人」という言葉を知っていますか？

- (1) ネットゲームへの過度の依存症により、廃人のようになった人のことだそうです。
- (2) 韓国でネットゲーム依存が問題化したのは、2002年10月に24時間営業のネットカフェで、24歳男性が86時間、オンラインゲームに没頭してエコノミークラス症候群になり、死亡した事件以来。この年10件の死亡事件が確認され、韓国政府は対策を急いだ。
- (3) 今年2018年、WHO世界保健機関で、ネットゲームへの過度の依存症が、病気として初めて定義されることとなった。

3 トランプ大統領の「エルサレム首都宣言」とは何？ 何が問題？

- (1) トランプ米国大統領は、2017.12.6、ホワイトハウスでの演説で「エルサレムをイスラエルの首都と公式に認める時だ」と宣言し、文書に署名した。併せて、イスラエルの米国大使館をテルアビブからエルサレムに移転することを指示した。
- (2) エルサレムはユダヤ教(嘆きの壁)・キリスト教(聖墳墓教会)・イスラム教(岩のドーム)の3つの宗教の聖地となっており、その帰属を巡って対立があるので、エルサレムの帰属はイスラエルとパレスチナの和平交渉で決めるというのが、米国を含む国際社会のこれまでの立場であり、エルサレムに大使館を置く国はなかった。
- (3) 今回のトランプ米国大統領の発言をイスラエルは歓迎するが、パレスチナ人などイスラムの人々は激しく反発し、イスラエルに対する攻撃が起きた。また、パレスチナ自治政府(10月12日に主流派のファタ派と少数派のハマスが和解し統一政府づくりの交渉中)とイスラエルの和平交渉をさらに困難にするものとなった。また、この交渉の仲介役として米国は信頼されなくなった。
- (4) 英・仏・中・ロなどの国際社会の多くの国々も、米国を非難した。

4 NHK受信料に対する12月の最高裁判決は？

- (1) 受信料制度は、特定の個人や団体、国家機関の影響がNHKに及ばぬように、放送を受信できる人に公平な負担を求めるものだ。
- (2) テレビがあれば受信契約を義務づける放送法の規定は、国民の知る権利を守るために契約を強制するもので、憲法に違反しない。

5 平昌オリンピックへのロシアの参加問題はどうなりましたか？

- (1) ロシアが各種競技で国家ぐるみで組織的にドーピングしていたことが、国際オリンピック委員会で既に認定されている。
- (2) 2016年リオオリンピックでは、参加・不参加は各競技ごとの国際連盟で決定することになった。
- (3) 平昌オリンピックへのロシアの参加問題に対し、IOC国際オリンピック委員会は、ロシアオリンピック委員会を出場資格停止処分にした。これによりロシアは平昌オリンピックへの選手団へ兼を禁じられた。ただし、個人的に潔白が証明された選手の参加は認められる。
- (4) ロシアとしては国を挙げてのボイコットの声もあったが、プーチン大統領は、潔白を証明して個人参加することを認めた。

6 ロヒンギャ問題とは？

- (1) ミャンマーから95万人のロヒンギャの人々が難民となってバングラディッシュに逃れている問題。現在難民となったロヒンギャの人々は極めて劣悪な環境で暮らしており、生存が危ない人もいる。バングラディッシュ政府も難民受け入れで、財政的にも政治・社会的にも困惑している。
- (2) ミャンマーにおけるロヒンギャ問題
ミャンマー人のほとんどは仏教徒で、ミャンマーに住むイスラム教徒のロヒンギャとは古くから対立し、ミャンマー政府は、ロヒンギャを「バングラディッシュからの移民」として、ミャンマー国民とは認めず国籍を与えないで、差別してきた歴史がある。
- (3) 1880～90年代にも数十万人が迫害を受けて難民になった。
- (4) 両者の対立がよりひどくなったのは、2012年に起きたロヒンギャと仏教徒住民との衝突で大きな犠牲がでたこと。このことにより、ロヒンギャの結束が固くなり、武装組織もできた。
- (5) 2017年8月25日に、ARSAアラカンロヒンギャ救済軍が、(自己防衛のため?)警察襲撃事件を起こし、警官11人が死亡した。この事件をきっかけに、ミャンマー政府はARSAを「テロ組織」に認定し、掃討作戦を開始した。これによりロヒンギャ住民の多くの集落が焼き討ちされた。そして多くのロヒンギャがバングラディッシュに逃れ、難民となった。
- (6) 現在、バングラディッシュ政府とアウンサン・スーチー氏を顧問とするミャンマー政府の間で、ロヒンギャの帰還問題を話し合っている。

平成30年3月セミナー-予定 3月10日(土)

＜勉強会＞は、船橋市勤労市民センター **1時** 集合

1. 知っ得ニュース (池田義光)
2. 日本史教科書の変更点 (池田)
3. 日本史豆知識 (池田)
4. その他 (報告者募集中!)

※終了後 船橋駅周辺で 4:45頃から＜懇親会＞

⇒出欠席をできれば 2週間前までに池田宛てにお知らせください

お知らせ: 社会科セミナーのホームページは ＜船橋市社会科セミナー＞ で検索ができます!

本セミナーのお知らせは、このホームページで行います。「次回の社会科セミナーのお知らせ」や「社会科セミナー通信のバックナンバー」「韓国見聞録」や「ベトナム見聞録」も公開されておりますので是非ごらんください。